



2026 年 9 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社UNIVA・Oakホールディングス
代表者名 代表取締役会長兼社長グループCEO 稲葉 秀二
(コード：3113 東証スタンダード)
問合せ先 取締役グループCFO 作田 陽介
(TEL. 03-6682-9884)

株式会社ユニヴァ・ペイキャストによる新たな決済機能として 多通貨決済サービス「Multi Currency Pricing (MCP)」の提供開始に関するお知らせ

自社開発の決済プラットフォーム「UnivaPay」を中心に、オンライン・オフラインを問わず多様な決済ソリューションを提供している当社連結子会社・株式会社ユニヴァ・ペイキャスト（以下「ユニヴァ・ペイキャスト」といいます。）は、この度海外ユーザー向けの決済体験向上を目的として、多通貨決済サービス「Multi Currency Pricing」（以下「多通貨決済（MCP）」といいます。）の提供を開始いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

多通貨決済（MCP）は、ユニヴァ・ペイキャストの既存決済基盤を活用した新たな付加価値サービスであり、今後、この多通貨決済（MCP）により見込まれる導入加盟店数および決済取扱高の拡大がペイメント事業における新たな収益機会につながることを期待されます。

なお、本件につきましては本日ユニヴァ・ペイキャストがリリースしました以下を併せてご参照ください。

<https://univapaycast.com/info/multicurrency-20260907>

記

1. 多通貨決済（MCP）リリースの背景・経緯

越境 EC や海外向けデジタルサービスの拡大により、日本国内の事業者においても、海外ユーザーからオンラインで決済を受け付ける機会が増えています。一方で、海外ユーザーが日本の EC サイトやオンラインサービスを利用する際、日本円で価格表示・決済されるケースが多く、購入時点における自国通貨での支払金額が分かりにくいという課題があります。

斯かる課題を踏まえ「UnivaPay」は、こうした海外ユーザーの決済体験を改善するとともに、海外ユーザーとの取引を行う加盟店の販売機会拡大を支援するため、新たな決済機能として多通貨決済（MCP）をリリースいたしました。

ユニヴァ・ペイキャストは多通貨決済（MCP）を通じ、「UnivaPay」の既存決済基盤を活用しながら海外ユーザー向け決済への対応を強化し、越境領域における新たな決済需要の獲得を目指してまいります。

2. 多通貨決済（MCP）の特長

（1）決済時に 13 通貨から選択可能

海外ユーザーは、決済時に対応する 13 通貨から希望する通貨を選択し、当該通貨で支払うことができます。

（2）決済前に支払金額を確認可能

ユーザー自身が選択した通貨で決済金額を確認したうえで支払いを行えるため、海外ユーザーにとって分かりやすい決済体験を提供します。

（3）加盟店は日本円で精算可能

海外ユーザーが外貨で決済した場合でも、加盟店への売上精算は日本円で行われるため、加盟店側で外貨を管理する必要がありません。

（4）既存の UnivaPay 加盟店への追加導入が可能

既存の UnivaPay 加盟店は、現在利用している決済環境に多通貨決済（MCP）を追加する形で導入することができます。

（5）利用条件

対応カードブランドは Visa および Mastercard です。都度払いの取引を対象とし、定期課金および分割払いには対応しておりません。また、ウィジェットおよびリンクフォームでの利用となります。

3. 多通貨決済（MCP）導入による効果

上記の通り、多通貨決済（MCP）は数々の特長を有していることから、多通貨決済（MCP）を導入することにより海外ユーザーは決済時に対応する複数の通貨から希望する通貨を選択し、選択した通貨で支払うことが可能となります。これにより、海外ユーザーは決済前に自らの馴染みのある通貨で支払金額を確認できるため、為替換算後の金額が分かりにくいという課題の軽減が期待されます。

また、加盟店にとっては、海外ユーザーにより分かりやすい決済環境を提供できることから、購入体験の向上および販売機会の拡大につながることが期待されます。また、海外ユーザーが外貨を選択して決済した場合でも、加盟店への売上精算は日本円で行われるため、加盟店側で複数の外貨を管理することなく多通貨決済に対応できます。なお、コンバージョン率および海外売上への具体的な効果については、今後の利用実績を蓄積しながら検証してまいります。

4. 多通貨決済（MCP）を踏まえたユニヴァ・ペイキャストの今後の事業展開

多通貨決済（MCP）は、UnivaPay の既存決済基盤を活用して提供する新たな付加価値サービスであり、ユニヴァ・ペイキャストの決済事業において新たな収益機会につながると期待されます。

ユニヴァ・ペイキャストは、こうした収益機会を確固たる収益基盤として確立するために、今般リリースした多通貨決済（MCP）について、2026 年を市場適合性および利用実績をモニタリングするフェーズと位置付け、その結果を踏まえ、2027 年以降の本格的な事業拡大につなげていく方針です。具体的には、導入企業の拡大とともに、親和性の高い市場、収益構造および導入プロセスの再現性をモニタリングし、その結果をもとに、来年以降の事業拡大およびパートナー企業等を通じた展開を進めてまいります。

5. 今後の見通し

本件による連結業績への影響については軽微と見込んでおります。

当社は、「UnivaPay」を中心に、オンライン・オフラインを問わず多様な決済ソリューションを提供し、国内外の多様な決済手段をワンストップで提供することにより加盟店の利便性向上およびキャッシュレス化を支援しているユニヴァ・ペイキャストを、当社グループのペイメント事業を担うコア会社と位置づけ、引き続きその企業価値増大に向けて強力的に支援してまいります。

以 上